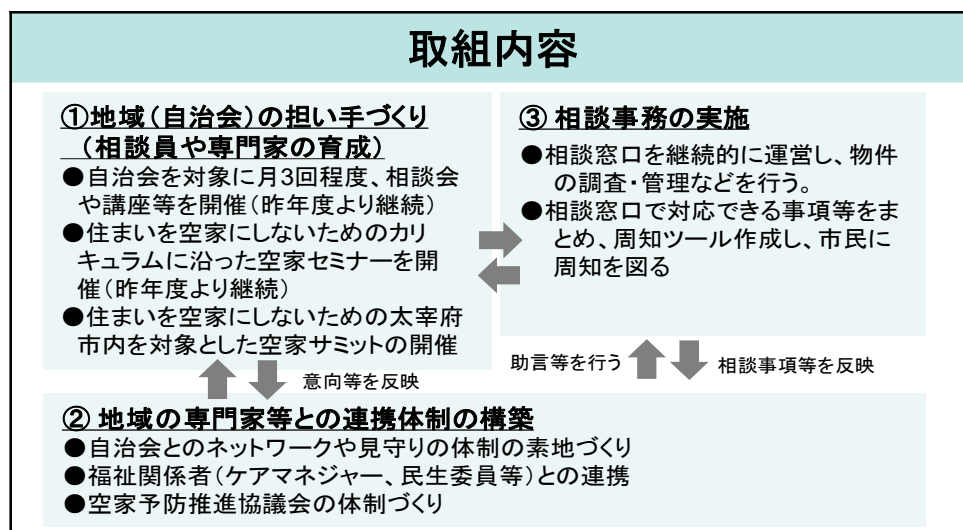


# 太宰府市内自治会組織との連携による空家予防対策モデル事業 (太宰府市空家予防推進協議会)

<b>課題と目的</b>	市内には、空家となる可能性の高い住まいが多く存在しており、今後も空家が増える可能性が高い。そのため、昨年度の本事業の成果をもとに、今年度は、太宰府市内の自治会の方々を中心に、住まいを空家にしないための意識啓発を図る勉強会やセミナーを継続的に実施し、住まいの問題や課題に対し、自ら行動できる人材を育て、自治会単位で行動できる人が増えるように取り組む。
<b>取組内容</b>	① 地域（自治会）の担い手づくり（相談員や専門家の育成） ② 地域の専門家等との連携体制の構築 ③ 相談事務の実施
<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会の方々に対して、アプローチした結果、住まいの担い手として、今後の住まい方について考えられるような知識を伝えるとともに、福祉会や長寿クラブ連合会等とつながりができ、福祉による体制づくりも見込める状況ができた。</li> <li>シルバー人材センターや商工会内のくらしのサービスセンター等と見守りや連携体制強化を図った。</li> <li>暮らしの相談窓口において、特定空家対象物件を3件、解決に導いた。</li> <li>空家予防の観点から、「独居老人の空家部屋」等を活用するなどこれからの住まいの使い方モデルの実践を図った。</li> </ul>



### 主な成果

**情報発信(HP)ツールの作成**



**独居老人の空部屋等の利活用の企画と実践**



**小校区福祉部において勉強会の実施**



**空家サミットの実施**

